

平成30年度

高規格救急自動車
仕様書

人吉下球磨消防組合消防本部

目 次

高規格救急自動車

第 1 総則

第 2 仕様

救急処置用資器材

別表 1－1 取付品及び付属品

別表 1－2 取付品及び付属品

別表 2－1 積載品

別表 2－2 救急資器材

高規格救急自動車

第1 総則

1 目的

この仕様書は、人吉下球磨消防組合（以下「組合」という。）が平成30年度防災対策事業で発注する高規格救急自動車（以下「車両」という。）の車両及び艤装並びに高度救命処置用資機材等について、必要な事項を定めることを目的とする。

2 車両の条件

車両は、この仕様書に適合して製作されるとともに、次の条件を満たした、救急自動車として最適の構造及び性能を十分に有するものであること。

- (1) 堅牢にして長期の使用に十分耐え得るものであり、かつ維持管理が経済的に行えるものであること。
- (2) 使用取り扱い上の安全性、操作性を十分に考慮したものであること。
- (3) 清掃、点検、調整及び修理が容易に行われるものであること。

3 適合法令

車両は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）、救急業務実施基準（昭和39年自消甲教発第6号通知）、及びその他の関係ある法令等に適合するものであること。また、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成30年4月1日消防消第69号）に準ずるものとする。

4 製作の着手

受注者は、受注後速やかに仕様内容について組合と細部にわたり協議のうえ、必要な指示を受け、次の関係図書各3部を、打合せ後、速やかに組合に提出し、承認を得て製作するものとする。

- (1) 製作承認図
- (2) 製作工程表(完成検査予定日を記入すること。)

5 検査

- (1) 検査は、中間検査及び完成検査とする。
- (2) 検査を受けようとする時は、10日前までに、検査日時、場所及び要領について組合の承認を得ること。
- (3) 検査に必要な測定器具等は、準備すること。
- (4) 検査は、組合の指示に従って受けること。

6 緊急自動車届出に関する図書の提出

新規検査（登録）を受ける14日前までに次の図書を組合に提出すること。

- | | |
|--------------------------|-----|
| (1) 完成後の車両前後面及び両側面のカラー写真 | 各3部 |
| (2) 完成後の車両前面及び側面図（寸法図示） | 各3部 |
| (3) 改造自動車等審査結果通知書 | 各3部 |
| (4) その他組合が指示するもの | |

7 納入時の提出書類

- | | |
|------------------------|-----|
| (1) 自動車車検証 | 1部 |
| (2) 自動車損害賠償責任保険証 | 1部 |
| (3) 外注先一覧表及び設計図書（承認図） | 各3部 |
| (4) 自動車取扱い説明書 | 1部 |
| (5) 点検整備要領書 | 1部 |
| (6) 各種パーツリスト、サービスマニュアル | 1部 |
| (7) その他組合が指示するもの | |

8 納入時の点検整備

納入時は、車両の各部について、点検整備を行った後納入すること。

9 納入台数 1台

10 納入期限 平成30年11月30日

11 納入場所 人吉下球磨消防組合中央消防署 (人吉市下林町1番地)

12 契約の範囲

- (1) 受注者は、自動車損害賠償責任保険料、自動車重量税及びリサイクル料を除くその他の登録に要する経費は全て負担すること。
- (2) 1ヶ月又は1,000km点検時にエンジンオイル及びオイルエレメントの交換、部品の締め付け・調整等を行い、それに要する費用一切は受注者の負担とする。
- (3) 受注者は、納入時に行う試験中の故障、破損等の修理に要する費用を負担すること。
- (4) 受注者は、製作承認後、製作上技術的に判断して、本仕様書の事項を改める必要がある場合は、組合の承認と指示を受けた後に実施すること。
- (5) 受注者は、製作承認後における一切の疑義はすべて組合の解釈に従うこと。
- (6) 本仕様書に記載なき事項で、メーカーの公表した仕様及び艤装については当然これを施すこと。
- (7) 本仕様書記載事項中、やむなく変更の必要が生じた場合は、組合と打ち合わせの上、書面若しくは図面をもって承認を受けること。

- (8) 本仕様書記載の別表の品目において、後継機種等が発売された場合は後継機種への変更も可とする。又、その場合は、組合と協議すること。
- (9) 車両の燃料は満タンの状態で納入すること。

13 保証期間

- (1) 装備品 個々の装備品については、そのメーカーの定めた期間とする。
- (2) 車 両 車両メーカーが定めた期間とする。
- (3) その他 保証期間の定めのないものについては納入後1年間とするが、保証期間後といえども設計不良、工作不良及び材質不良に起因する不都合箇所発生の場合は、受注者の責任において無償にて取替え又は修理を行うものとする。

14 技術援助

車両の取扱い要領及び救急資器材の取扱いについては、各専門業者による指導を受注者の責任において実施すること。

第2 仕様

1 車両の主要寸法

- (1) 全 長 5. 7 0m 以下
- (2) 全 高 2. 9 0m 以下
- (3) 全 幅 2. 0 0m 以下
- (4) 室内長（後部車室の有効長さ） 3. 1 0m 以上
- (5) 室内高（後部車室の最高有効高さ） 1. 8 0m 以上
- (6) 車室幅（後部車室中央付近の有効幅） 1. 6 0m 以上
- (7) ホイールベース 3. 7 0m 以下
- (8) 乗車定員 7名以上

2 車両等の製造年

- (1) 車両の主要構成部品は、全て新規製品を使用すること。
- (2) 使用材料及び部品は、新規製品又は新品のものを使用すること。

3 標準取付品

標準取付品及び付属品は、公表したものすべて納入すること。

ただし、この仕様書で指定したものと重複するものについては、除くことができる。

4 使用材料及び部品の規格

- (1) 車両に使用する材料及び部品は、特に指定するものを除き日本工業規格（以下

- 「J I S」という。) のものを使用すること。
- (2) 主要構造部は、一般構造用圧延鋼材を使用すること。
- (3) その他の材料は次のとおりとする。
- ア プラスチック類は、すべて難燃性のものを使用すること。
- イ ゴム製品は、すべて耐油性の合成ゴムを使用すること。
- ウ 木材は、十分乾燥したのものを使用し、製作後変形、歪み等が生じないものとする。

5 本 体

- (1) 本体は、シャーシ、ボディ及び付属装置から構成されるものとする。
- (2) 構造及び性能
各部の構造及び性能は、次のとおりとする。
- ア 外板は、主に金属製又はFRP製とし、主要部の継目は溶接仕上げとすること。
- イ 総体的な重量軽減を図り、前後輪荷重及び左右荷重のバランスを考慮すること。
- ウ 構造は堅牢で耐久性が十分あること。
- エ 板金等の切断端には、危険防止のため丸みを付け、又、溶接のバリ等がないこと。
- オ 全般にわたり、防錆及び防水処置を施すこと。
- (3) エンジンの型式等
ア ガソリンエンジン仕様とする。
- イ 総排気量は2, 400cc以上とする。
- (4) 動力伝達装置
ア 電子制御オートマチック式トランスミッション4WDとする。
- イ シフトポジションインジゲーターを計器盤内に設けること。
- (5) 操行装置
パワーステアリングとする。
- (6) 懸架装置
ア 懸架装置は、救急車として特別に設計されたものを使用すること。
- イ 傷病者に悪い影響を及ぼさない十分な緩衝性能を有すること。
- ウ ばねは、十分な耐久性を有するものであること。
- (7) 安全装置
ア アンチロックブレーキシステム(ABS)を装備すること。
- イ エアバッグ(運転席・助手席)を装備すること。
- (8) タイヤ等
ア タイヤは、ラジアルタイヤ(スペアタイヤ含む)とすること。又、冬季用 ス
タッドレスタイヤ(ホイール共)1式も含む。
- イ 一時停車用に車輪止め(ロープ付き軽量型2個1組)を備えること。
- (9) 電装品
ア 充電発電機は、12V-150A以上のものを装備すること。
- イ バッテリーは、12V-120AH以上のものとし、資機材に必要な電気容量を

確保できるものとする。

ウ バッテリー収納部は、容易に点検装備が行える構造とすること。

エ 電装品は、無線障害の少ないものを使用すること。

オ 熱に弱い電装品は、エンジン等の発熱部から十分な距離をとって取付け、又は、防熱対策を施すこと。

カ 配線は容量十分なケーブルを使用し、天井及び側板内等に敷設すること。

キ 積載器具に対する無線障害防止策を十分に講じること。

(10) 燃料タンク及び燃料配管

ア 燃料タンクの容量は、車両の標準装備容量とする。

イ 燃料配管とエンジン部及び燃料配管と燃料タンクとの接続部は、耐熱性及び可とう性のある部材をもって強固に固定すること。

(11) ボディ

ア 運転室及び患者室

ボディはワンボックスとし、全有蓋で密閉式構造とし、運転室から患者室へ容易に往来することが可能な構造とすること。

イ 内装及び天井

(ア) 各内装材の色は、白色系、グレー系、クリーム系又は茶系とし、色調の調和を図ること。

(イ) 天井は、断熱性及び遮音性を考慮した構造とすること。

(ウ) アンテナ台座及び散光式警光灯台座等の取付け部は、容易に点検が行える構造とすること。

(エ) 天井内張りは、配線等の点検が容易に行える構造とすること。又、各器具取付け部の天井裏面を強固に補強すること。

ウ 床 等

(ア) 運転室の床は、標準仕様とする。

(イ) 床は、水洗いに耐える十分な防水及び防錆加工処置を施すこと。

エ ドア

(ア) 運転室の左右側面、患者室の左側面及び後面には、ドアを設けること。

(イ) 患者室の側面ドア（以下「側面ドア」という。）は、スライド式に開閉できるものとし、傷病者等の乗り降り及び各種救急資機材の出し入れに支障のない幅、高さを有すること。

(ウ) 後面ドアは、メインストレッチャー等の出し入れに十分な幅、高さを有するとともに跳ね上げ式 1 枚ドアとすること。又、閉鎖時には電磁的閉鎖機能を有し、非常時に解除出来る構造とすること。

(エ) 側面ドアは、通常の使用状態において、開放時に自動的に固定するものであること。又、閉鎖時には、電磁的閉鎖機能を有すること。

(オ) 各ドアの出入り口付近に、乗降時に使用する把手を取付けること。

(カ) 側面ドア及び後面ドアの下方には、乗降時に使用するステップを設けること。又、各ステップ（左サイドステップ、リアステップ）の上面にはアルミ

縞板を取付けること。

(キ) 施錠方式については、運転席での集中ドアロック方式とすること。

(ク) 運転室の左右ドアにサイドバイザーを取付けること。

オ 窓

(ア) 患者室の左側窓ガラス及び後面ドアの窓ガラスはプライバシーガラスとし、下方約3分の2以上は、曇りガラス又はこれと同等以上の目隠し処理を施し、後面ドア窓ガラスは熱線入りとすること。

(イ) 患者室の窓ガラスは、後部ドアに電動カーテン、左側には手動式のカーテンを取り付けること。なお、右側には、白色フィルムを貼付し遮光及び外部から見えないような処置を施すこと。

(ウ) 運転室の左右のドアはパワーウインドウとする。

カ 座席

運転室の座席は次のとおりとする。

(ア) 座席数は、2座とすること。

(イ) 座席の配置は、運転席及び隊長席とする。

(ウ) 各座席には、3点式シートベルト（巻取り型）を設けること。

患者室の座席は、次のとおりとする。

(ア) 座席数は、4座以上とする。

(イ) 座席の配置は、左側に3～4座席（内1座席は前向きとする。）を配置すること。又、ベッド頭部側に処置用座席を設けること。

(ウ) ベッド左側の座席の下部には収納庫を設けること。

(エ) 各座席は、背当てと2点式または3点式のシートベルトを設け、使用しないときは整理できる構造とすること。

(12) 冷暖房装置等

ア 冷暖房装置は、運転室と患者室がそれぞれ機能するように設けること。

イ 患者室天井部に、電動換気扇を設けること。

(13) 資機材庫等

各資機材庫の形状及び寸法は、車両構造に合わせて組合が指示する。又、資機材の機能を損なうことなく安全かつ確実に積載できるものであって一般的事項は、次のとおりとする。

ア 患者室に本仕様書記載の、それぞれの資器材を収納できる棚及び資器材庫を必要に応じ設置すること。

イ 構造は、堅牢かつ走行中の振動等による異音が発生しないものとする。

ウ 各扉及び引き出しは、走行中の振動等又は内容物の移動により開放しない固定装置を設けること。又、固定装置の機能は確実かつ容易に固定及び解除ができること。

エ 内側には、必要に応じ、積載品の固定装置及び緩衝材を設けること。

(14) 収納庫

次に掲げる収納庫等については、同等以上の性能、機能を有するものであれば変

更可能とする。また、その場合は組合と協議すること。

ア 運転室

- (ア) 書類入れを運転室上部（天井面 2 箇所）に設けること。
- (イ) 運転席と隊長席間に地図入れ収納ボックスを設けること。

イ 患者室

- (ア) 運転席後部に縦型収納庫を設けること。また、内部に、調節可能な 3 段棚、固定ベルト 3 箇所以上を設け、扉内側にネット収納 2 箇所、外側に大型の書類収納庫、を設けること。
- (イ) 患者室右側ルーフサイド前及び、患者室左側ルーフサイド前・後に収納庫を設けること（右側のみ仕切り有）。
- (ウ) 患者室右側に 3 段収納庫を取り付けること。
- (エ) 患者監視モニター付近に、患者回路等の収納庫を設けること。
- (オ) 患者監視モニター付近に、処置用トレイを設けること（着脱可）。
- (カ) 患者室右側ルーフサイドにセンサー類の汎用収納庫を設けること。
- (キ) 患者室右側ルーフサイドに酸素マスク収納用のトレイを設けること。
- (ク) 右側後部に大型収納庫 1 箇所及び処置トレイ付収納庫 1 箇所を設けること。

(15) 酸素吸入装置

- ア 酸素ボンベ固定装置は、バルブの開閉及び圧力が視認できること。
- イ 酸素ボンベ固定装置は、アルミボンベ（9.40）2 本以上をそれぞれ個別に脱着できる構造とすること。なお、アルミボンベ（9.40）2 本を附属すること。
- ウ 酸素配管の位置及び構造等は、次のとおりとする。
 - (ア) 酸素配管は、救急処置に支障なく、体裁よく施工されていること。
 - (イ) 酸素配管は、十分な耐圧及び耐蝕性を有するとともに、走行中の振動、衝撃等に十分耐える強度の材質のものを使用すること。
 - (ウ) 酸素配管は、酸素ボンベ近くに酸素送りだし用接続口及び 3 方チーズを患者室内の使用に適した場所に適宜設けること。

(16) ストレッチャー関係装置

- ア メインストレッチャー及びその架台は、次のとおりとする。
 - (ア) メインストレッチャーの形式は、ファーノ社製「スカッドメイトモデル 9 3 0 4」又は同等品以上とする。なお、サイドアームプレートモデル 160-1（サイドアームリリースリンケージシステム付き）を両側に装備すること。
 - (イ) メインストレッチャーの構造及び付属品は標準仕様とする（ボルスターマットレス、傷病者固定ベルト 2 本付き）。また、マルチ酸素携帯バッグ（NT-PRO-NIM）、減圧弁 FLW2 型、インハレーター 2、サイドアームプレートカバー、新型ガードル架キット #9304 用、患者固定用ベルト（バイオセーフストラップ 2P）、雨覆い、枕（モデル TC902）、（以上各 1 式）を付属品として装備すること。
 - (ウ) 架台は、患者室中央付近に設けること。
 - (エ) 架台は、メインストレッチャーを確実に固定し、かつ容易に解除できる構造

- の固定装置(ワンタッチ式)を設けること。また、搬入ガイドを装備すること。
- (オ) 架台は、左右にスライド可能な構造とし、仰臥位の傷病者の体位変換ができるものであること。又、ベッドの防振機能を固定する装置を設けること。
- (カ) 水平移動は手動式とし、操作スイッチ等は操作しやすい場所に設けること。
- (キ) 架台には、加速度等により車体からメインストレッチャーに伝わる振動及び車体横方向の加速度を減衰させる防振機能を設けること。
- (ク) 架台は、胸骨圧迫等の処置のため任意の位置でロックできる機能を有すること。
- イ スクープストレッチャー、バックボードの固定装置は、次のとおりとする。
- (ア) 固定装置は、患者室に設けるとともにスクープストレッチャー、バックボードを確実に固定し、かつ容易に解除できる構造とすること。
- (17) 手洗い装置
- 患者室の手洗装置を収納庫に改造し、上部面は取り外しのできるステンレス製トレイを取付けること。又、有効な位置に、ウエルパス 10 収納庫、収納庫及びペーパーホルダー（着脱可）を設けること。
- (18) 消防無線電話装置等
- ア 消防無線電話装置等の設置については、当組合と委託契約している業者で実施することとし、アンテナ土台及び室内無線機設置場所、並びに配線関係については、艤装の段階で委託業者と協議すること。
- イ 運転室天井部・患者室前方部に各 1 箇所無線機用スピーカー（遮断スイッチ付き）を取り付け、委託業者が移設する無線機との接続が容易にできるよう設置しておくこと。
- (19) 携帯電話
- 患者室に携帯電話が充電できる機器及び配線を行うこと。
- (20) その他
- ア 患者室の床と各資機材庫との接合部には、水洗いに耐える十分な防錆及び防水処置を施すこと。
- イ 車両後部は、ストレッチャーによる搬入が容易に行える構造のものとする。又、ステップ（アルミ製縞鋼板）をフレームに確実に、かつ堅固に取り付け、リアバンパー損傷防止板（アルミ製）を取り付けること。
- ウ 患者室天井には、蛍光灯型の室内灯及び患者観察用のスポットライトを設けること（調光機能付）。
- エ 患者室の見やすい位置に、デジタル式電波時計（湿度計付）を設けること。
- オ 患者室の使用に適した位置に、マグネット対応ホワイトボード（本体着脱式）を設けること。
- カ 患者室の使用に適した位置に、ヘルメットを掛けるフックを 3 個、運転室座席上部に 2 個設けること。
- キ 車内に、膨張式救命浮輪を取り付けること。
- ク 患者室の使用に適した位置に、C 型バネ付フックを適当数設けること。

- ケ 患者室にグローブボックス等を4個以上取り付けることの出来るバンド等を設けること。
- コ 患者室天井部（架台上方）に、感染防止対策用のフックを組合との協議により設けること。

6 取付品及び付属品

別表1-1及び別表1-2に掲げるものとし、主な取付品及び付属品を次により取り付けること。

(1) 一般的事項

- ア 取付品は、補強を十分に施し取り付けること。
- イ 取付品は、無線障害の少ないものを使用すること。
- ウ 取付品の配線は、十分な容量のあるケーブルを使用し、内側に露出しないこと。
- エ 各装置の液（油）量の確認は、容易に行えること。

(2) 電装品関係

- ア ルーフ前面に50W以上スピーカー2個内蔵型散光式警光灯（LED）、後部ルーフサイドに流線型点滅警光灯（LED 左右1個）及び前後両側面に赤色灯（LED）を設け、スイッチはコントロールボックスに設けること。又、警光灯はルーフ一体埋込型とする。
- イ 前部赤色点滅灯（LED）をフロント部に、フォグランプを車両前部の両サイドにそれぞれ2個取り付けること。
- ウ ルーフサイドの左右に2灯ずつ、後部ドア外側に1灯の作業灯（LED）を取り付けること。
- エ 電子サイレン（音声合成装置内蔵）は、「救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について」（昭和45年消防防第337号通知）の別紙「救急自動車に備える電子サイレンの概要」に適合するもので、次により取り付けること。
 - (ア) アンプ部は、センターコンソール又はその付近に取り付けること。
 - (イ) スピーカーは、50W以上2個を接続し、ハーモニックサウンド及び、フェードインアウト機能付きとすること。又、散光式警光灯の中央部に前向きに組み込むこと。
 - (ウ) フレキシブル型マイク（ON-OFFスイッチ付）は運転席右側付近に設けること。
 - (エ) 隊長席付近には、ハンドマイクのハンガーを設けること。
 - (オ) 補助サイレンは、車両前部の適当な位置に組み込み、スイッチは隊長席付近に取り付けること。又、回路には点検用の装置を設けること。
- オ 車両の右左折及び後退等を警報音及び音声で警告する音声合成装置を取り付けること。なお、警報解除スイッチは、運転席付近に設けること。
- カ 後部にバックアイカメラを取り付け、モニターはコンソール内蔵型とすること（カーナビゲーションシステム次回車検時更新付き）。
- キ 電流計及び電圧計は、それぞれ運転席に設けること。

- ク 室内の照明は、患者の症状及び救急隊の業務に支障のないように照度を調整する機能を有すること。
- ケ マップランプを隊長席左側、スポットランプを患者室左側にそれぞれ1個設けること。
- コ ステップ灯は、後部ドア及び側面ドア付近にそれぞれ1個設けること。なお点灯がドア開閉と連動及び非連動となるような選択スイッチを設けること。
- サ 車体右側後部に防水対策を施した容易に脱着できるAC100Vの外部入力マグネット式コンセントを1個設け、接続コード10m以上(コネクタ付)を付属すること。又、外部電源入力中はエンジンスタートできないスターターカット機能付きとすること。なお、自動充電器を設置すること。
- シ インバーター(正弦波300W)を設けること。又、患者室の使用に適した位置に交流100V出力コンセント(ダブル)を2箇所以上設けること。
- ス 患者室内の使用に適した位置にDC12V出力コンセント、同シガライター型コンセントをそれぞれ2箇所以上設けること(銘板表示)。
- セ 増設ヒューズボックスは、運転室内の運転席及び隊長席から操作しやすい位置に設けること。
- ソ 電動カーテンのスイッチを運転室、患者室にそれぞれ1箇所設けること。
- タ 患者室内電装品スイッチは、隊員が容易に操作できる位置に設けること。
- チ 左右後輪にスモールランプと連動する路肩灯を取り付けること。又、スイッチを運転席から操作しやすい位置に設けること。
- ツ サイドフラッシュランプをルーフ前部両側に設けること。
- テ 前照灯は、LED・ヘッドランプを装備すること。
- ト コーナーセンサーを前部バンパー左右に設け、インジケータランプ・ブザー等で知らせるシステムを運転席の見やすい位置に設置すること。また、システムをON-OFFするスイッチを設けること。
- ナ 運転室の視界を妨げない箇所にドライブレコーダーを設置すること。
- ニ 後方ドアの患者室内側上部に、可動式のサーチライトを取付けること。
- ヌ キャビネット後方右側に、バックドア開放時にルーフ赤色灯と連動する赤色点滅灯を設けること。

(3) その他の取付品

- ア 消防章をフロントグリルの中央部に取付けること。
- イ 停車中のアイドリング回転を上げることのできる構造とすること。
- ウ ルームミラーは、隊長席用も取付けること。
- エ 右側ルーフサイド後部に、輸液ビンホルダーを取付けること。
- オ 加湿流量計(OX-FDX)は、患者室右側の救急処置に支障とならない位置に取付けること。
- カ 患者室の天井に収納ネットを2箇所以上設けること。
- キ サイド収納ボックス(レスキュー用品収納庫)を設けレスキュー資器材(5点セ

- ット) を搭載すること。
- ク フロントアンダーミラーを設けること。
- ケ 隊長席側から車両後方が確認できる補助ミラー（アウトサイドミラー）を取り付けること。
- コ 牽引フックをフロントバンパー下部に堅固に取り付けること。
- サ マットガード（泥除け）を全車輪に取り付けること。
- シ 消火器を設置すること。
- ス 人工呼吸器の取付金具は、脱着が容易にできる金具にすること。
- セ 足踏み式汚物入れを、患者室の有効な位置に取り付けること。

7 積載品の取付

積載品は、別表2-1及び別表2-2のとおりとし、★印のあるものは、本仕様書記載の資機材に適した台座及び取付金具を設け資機材の機能を損なわないように艤装すること。また、取付位置については組合と協議すること。

8 塗装関係

- (1) 車体の塗装は、白色とし、錆落とし及び清掃洗浄を完全に行い、上質塗装で入念に吹き付け仕上げをすること。補修用塗料を添付すること。又、車体中央部には朱色のベルト（幅50～70mm程度）を再帰性に富んだ反射材で施すこと。
- (2) 車両に下記の要領で文字を記入すること。
 - ア 記入文字

① 車両前面及び後面	中央消防署	(青色)
② 車両後部ドア後方両面	人吉下球磨消防本部	(青色)
③ ルーフ左右側面	H I T O S H O	(青色)
④ ルーフ後部	E M S	(青色)
⑤ ルーフ天井（対空表示）	熊本県人消西1	(赤色)
 - イ 字体 MSゴシック体
 - ウ 施工 カッティングシート
 - エ 素材 再帰性に富んだ反射材（ただし、対空表示は除く）
 - オ その他 耐久性のある加工とすること
- (3) 救急シンボルマーク・スターオブライフを後部左右側面ドア（青色）に標示すること。又、再帰性に富んだ反射材を使用すること。
- (4) 納入後、1年以内に塗装部分の剥離、亀裂等が生じた場合は再塗装すること。なお、その他詳細については別途協議すること。

9 銘板

銘板は、次により取り付けること。

- (1) スイッチ類には名称及び「入・切」又は「ON・OFF」の表示をすること。
- (2) 当組合が指示する計器類及び資機材収納ボックスには、名称を表示すること。

10 その他

別表 1 - 1 の表中の救急資機材で、商品名が記載されているものについては、これと同等以上の性能を有するものとする。

救急処置用資器材

別表 1-1 取付品及び付属品

番号	品名	数量	摘要
★1	防振ストレッチャー架台	1式	<ul style="list-style-type: none"> ・磁気式 ・左右スライド機能付き ・搬入ガイド付き ・CPR ロック付き
★2	メインストレッチャー	1式	<p>【ファーノ社製】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スカッドメイトモデル 9304 ・サイドアームプレートモデル 160-1 サイドアームリリースリンクージシステム付（両側） ・マットレスモデル 460 J ・新型ガードル架キット #9304 用 ・サイドアームプレートカバー ・雨覆い ・レストレイントモデル 430-2P×1 式 ・バイオセーフストラップ 2P×1 式 ・専用マクラ
★3	電子サイレン	1式	<p>【メーカー標準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンプ、スピーカー、マイク （拡声装置付） ・ピーポー・ウー音 2 音式 ・ハーモニックサウンド及び フェードインアウト機能付
★4	散光式警光灯	1式	<p>【メーカー標準】 補助 LED 赤色灯増設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーフ前・後部、フロントバンパー部、 前後両側面（LED）
★5	酸素呼吸器及び取付	1式	<ul style="list-style-type: none"> ・オキシパック OX-FDX ヨークバルブ仕様 （ジュンロン 3 口付き） ・延長ゴム管、バルブ用金具 ・患者マスク（オキシマスク成人・小児）
★6	人工呼吸器	1式	<ul style="list-style-type: none"> ・メディマットイージャー （標準付属品付き） ・アンプシリコンカフマスク （No.0・No.2・No.5）
7	エアーウェイ		<ul style="list-style-type: none"> ・ゲデルエアウェイ No.1・No.3・No.4 （各 2 個）

8	開口器	1 個	・ エスマルヒ
★ 9	消火器	1 本	・ 標準品（自動車用 ABC4 型以上）
★ 10	電子サイレン以外のサイレン	1 式	・ 補助サイレン
★ 11	無線機移設		・ デジタル無線機以外一式

★ 印については、台座及び取付金具を含む。

別表 1-2 取付品及び付属品

番号	品名	数量	摘要
1	予備タイヤ	1本	ホイール付き(装備同等品)
2	タイヤチェーン	1組	非金属製
3	泥除け	1式	純正品
4	フロアマット	1式	純正品(ゴム製)
5	予備電球	1組	取付数の半数(前照灯を除く)
6	予備ヒューズ	1組	
7	サンバイザー	2個	
8	サイドバイザー	2個	
9	非常用信号器具	1式	
10	反射式三角停止表示板	1個	認定品
11	標準工具	1式	ジャッキ含む
12	愛車セット	1式	
13	スタッドレスタイヤ	4本	ホイール付き
14	牽引ロープ	1式	非金属製
15	牽引フック	1式	標準
16	車輪止め	1式	軽量2個セット
17	キーレスエントリー	1式	集中ロック式
18	フォグランプ	2個	
19	左右後退音声警報器	1式	解除スイッチ付き
20	消防章	1個	樹脂製
21	リアホイール灯	2個	
22	サイドフラッシャーランプ	2個	
23	エアバッグ	2個	運転席・隊長席
24	患者室大型蛍光灯(LED)	4灯	調光機能付
25	患者灯(スポットライト)	2灯	調光機能付
26	バックドアステップ灯	1灯	
27	サーチライト(OLIGHT R50 SEEKER)	1個	
28	サイドドアステップ灯	1灯	
29	バックドア外部作業灯(LED) 1灯	1式	運転席にスイッチ取付
30	ルーフ側面作業灯(LED) 左右計4灯	1式	運転席にスイッチ取付
31	インバーター	1式	正弦波300W以上
32	外部入力マグネット式コンセント(車両後部右側)	1式	マグネット式コンセント用ケーブル含む(10m)
33	エンジンスターター・カット機能付き	1式	
34	AC/DC100V電源出力コンセント	1式	室内電源

35	DC 12V 出力コンセント	1 式	室内電源
36	電流計・電圧計	1 式	
37	マップランプ及びスポットランプ	1 個	隊長席及び患者室左側
38	助手席用インナーミラー	1 式	隊長用
39	アウトサイドミラー	1 個	助手席側
40	資機材収納庫	1 式	
41	酸素ボンベ庫・加湿流量計・アルミボンベ 2 本	1 式	オキシパック OX-FDX
42	酸素マスク収納トレイ	1 式	
43	レスキュー用品 5 点セット (収納庫含む)	1 式	
44	マルチサイド下部収納庫	1 式	
45	ルーフサイド収納庫(右側のみ仕切り有)	1 式	右 1 箇所、左 2 箇所
46	患者室座席	4 席	シートベルト付き
47	ME 機器ラック	1 式	
48	処置トレイ付大型収納庫	1 式	
49	患者室スイッチパネル	1 式	調光付
50	牽引フック	1 個	
51	処置用トレイ (患者室右モニター付近)	1 個	マグネット式
52	患者室収納ネット (天井部、収納庫内、後部座席背部)	1 式	
53	デジタル式時計(電波時計)温湿度計付き	1 個	患者室
54	ヘルメットフック	6 個	運転室座席上部 3 患者室 3
55	膨張式救命浮輪	1 個	
56	地図入れ等ボックス (大)	1 個	縦型収納庫外側扉付近
57	フレキシブルマイク	1 個	運転席
58	点滴フック及び容器固定装置	2 個	
59	手洗い装置を収納庫改造 (ウェルパス 10 収納庫 + 収納庫及びペーパーホルダーを含む)	1 式	収納庫上部面ステンレス製トレイ
60	除細動器具固定装置取付け	1 式	
61	人工呼吸器取付け (取り外し可能)	1 式	モニター上部付近
62	電動式バックドアカーテン	1 式	スイッチ 2 箇所
63	バックアイカメラ及びモニター コンソール内蔵型モニター (純正ナビゲーションシステム次回車検時期更新付)	1 式	モニター (運転席)
64	赤色警光灯	1 式	・車両両側面前後 (4 灯) ・フロントバンパー部 ・キャビネット後方作動表示器 (右 1 灯)

65	冷暖房装置	1 式	運転室・患者室
66	電動換気扇	1 式	患者室
67	携帯電話（旧車両から）		
68	バックボード収納庫	1 式	患者室
69	スクープストレッチャー収納庫	1 式	患者室
70	センサー類ポケット	1 式	患者室
71	C型バネ付フック取付	5 個	
72	感染防止用フック取付	1 式	ストレッチャー上部天井
73	アシストグリップ	1 式	標準仕様
74	ベンチサポートアーム	1 式	人工呼吸器用
75	手動式カーテン	1 式	患者室左側
76	吸引カテーテル保持パイプ	1 式	患者室右下部
77	グローブボックス等固定用 4 連バンド	1 式	縦型収納庫外側
78	デジタル無線収納庫（パーテーション代用可）	1 式	
79	ホワイトボード（着脱式）	1 式	患者室
80	足踏み式汚物入れ	1 個	
81	ペーパーホルダー	1 個	
82	拡声器	1 個	
83	リア、サイドステップアルミ縞板	1 式	
84	アウトサイドミラー	1 個	
85	コーナーセンサー	1 式	前部バンパー
86	バックドアスポットランプ（可動式）	1 式	後方ドア内側上部
87	ドライブレコーダー	1 個	
88	3 段収納庫	1 式	患者室
89	防刃防護衣 NT-EMT-01	3 着	消防本部名入り
90	メッシュベスト BS 2	3 着	

※台座及び取付金具を含む。

別表 2-1 積載品 (高度救命処置用資機材)

番号	★	品名	数量	内 訳
1	★	気道確保用資機材 ・ラリングアルチューブ ・挿管セット ・LED喉頭鏡 (収納ケース付) ・マギール鉗子 ・バッグマスク ・吸引器 ・エアウェイ (経鼻) ・減圧弁 ・インハレーター ・携帯酸素バッグ	各1個 各1箱 1箱 各1個 5組 1式 各1組 1式 1式 5個 1個 5個 5個 各5本 1式 1式 1式	ラリングアルチューブ (サイズ2, 3, 4) パーカー気管内チューブ・I-PFHV (サイズ7.0、7.5、8.0) ポーテックス・スタイレット バイトブロック(大中小) トーマスチューブホルダー (成人) コルトライト喉頭鏡マッキントッシュブレード (サイズ2・3・4) Riesterファイバー喉頭鏡LEDハンドルL マギール鉗子 (大・小) アンブ蘇生バッグシリコン製蘇生オーバル プラス リザーバー付き※3種類 (マスク成人、小児、幼児用含む) レールダルサクシオンユニットLSU4000 エアゾルフィルター キャニスター 患者チューブ フィルターチューブ PORTEX 経鼻エアウェイ (サイズ6・7・8mm) 減圧弁 FLW2 型 (ヨーク型) インハレーター2 マルチ酸素携帯バック NT-PRO-NIM
2	★	循環管理用資機材 半自動除細動器	1式 3本 1個 1個 2個 1箱 1箱 1本 1器 1本 1個	【日本光電】 TEC-2603 付属品を含む リチウムイオンバッテリー バッテリーチャージャー 除細動レポート表示ソフト SDメモリーカード 除細動パッド 記録紙 電源コード 記録器 (患者モニター下に設置) 記録器用ケーブル ウォールマウント

3		輸液用資機材 ・輸液セット	1箱 各1箱	テルフュージョン輸液セット TI-U357P(20本入) 三方活栓付 針刺し防止機能付留置針スーパーキャス5 (20G、22G)
4		観察用資機材 血中酸素飽和度測定器 (パルスオキシメーター)	1式	OxyTrue A (成人用・小児用プローブ付き)
5	★	心電計 (患者監視装置) ・ベッドサイトモニター	1式 2個 1本 1本 1本 1箱 1箱 1個 1本 2個 2個 2箱 1枚	【日本光電】 ライフスコープ VS BSM-3562 付属品含む バッテリーパック フィンガープローブ マルチプローブ CO2センサキット ネーザルアダプター エアウェイアダプタ 心電図解析プログラム 心電図誘導コード12誘導 成人用カフ 小児用カフ 記録紙 SDデータカード1GB

★印については、台座及び取付金具を含む。又、品名、内訳は同等品

別表 2-2 救急資器材

1		観察用資器材 ・ペンライト ・体温計 ・アネロイド血圧計 ・電子血圧計 ・聴診器	1個 1個 1個 1式 1式 1個	LED ペンライト瞳孔ゲージ付 電子体温計 オムロン MC-670 額体温計 CUSTOM パピッとサーモ ウェルチ・アレン DS58 3ツ組 ハンド型 1チューブ テルモ電子血圧計 ES-H55 リットマンマスタークラシック II SE2210 ブラック
2		創傷保護資器材 ・駆血帯 ・止血帯	2組 1組	ゼーゲンワンタッチ駆血帯 圧力計付止血帯 (ユニバーサル)
3		看護用資器材 ・膿盆セット ・救急はさみ ・受水盆	各1組 各1個 1個	大中小 3種 レスキューシザー、万能ハサミ、臍帯剪刀
4	★	固定用資器材 ・バックボード ・ヘッドイモビライザー ・頸椎固定器具 ・バキュームスプリント (オックスフォード)	1式 1式 各5組 1式	バックストラップスパインボード (固定用ベルト5本含む) ファーノ社ヘッドイモビライザー スティフネックセレクト (成人・小児) 減圧式部分固定用
5	★	搬送用資器材 ・スクープストレッチャー ・ヘッドイモビライザー ・布担架 ・簡易担架 ・レスキューシート	1式 1式 1組 1箱 1組	ファーノエクセル モデル 65 E X L ピン 付 (固定用ベルト5本含む) レッドダブル (ヘッドイモビ) ターポリン 足袋付 コンパクト担架 モデル44
6		その他の救急資器材 ・救急バッグ (応急処置用) ・救急バッグ (特定行為用) ・救急分娩セット ・保護ゴーグル ・ゴム手袋	1個 1個 1式 5個 各2組	プロトラウマキット3ウェイタイプ モデル5107 マックストラウマキットIIオレンジ (内部 バッグ付) モデル5135 お産用セット ゼロビジョンZV-600 ニトリルフィットNBRグローブ (L M S)

		<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルカメラ ・リングカッター ・気管挿管用バッグ ・カラビナ付き輸液バッグ ・プライバシーシート ・N95マスク ・ピンセット 	<ul style="list-style-type: none"> 1式 1式 1個 1個 2個 1箱 1個 	<ul style="list-style-type: none"> 防水、データカード8G、カメラケース (防塵防水) リングカッター FSJAPAN FSJAPAN クイックプライバシーシートV3 3M Vフレックス9105 (50枚入) 無鉤15センチ
7	★	循環管理用資機材 <ul style="list-style-type: none"> ・自動胸骨圧迫装置 	<ul style="list-style-type: none"> 1式 1本 1器 	<ul style="list-style-type: none"> 【コーケンメディカル株式会社】 CLOVER3000 Fパッケージ 予備酸素ボンベ (FRP) JP 酸素アダプター (川重型)

★印については、台座及び取付金具を含む。又、品名、内訳は同等品